

輝け！シン尾花沢中

第 1 3 0 号

令和 7 年

11 月 21 日

長根の山の ふもとはら 遠いゆかりの おもだかの

「いのちの教育講演会」振り返りからみる、尾中生の成長②

前号に続き、「いのちの教育」講演会の振り返りを紹介します。

■当たり前や奇跡、命の神秘への感謝について

- ・生きることの大切さや命のすばらしさを学ぶことができました。当たり前のように家や学校でやっていること、親に怒られていることすべてが「自分の未来が良くなるようにやっていることなんだ」と気づくことができました。家族や友達、すべての人と出会えていることが奇跡で、みんなと一緒に過ごすことができていることが当たり前ではないんだとも思えました。これからは感謝を忘れずに思いを言葉や行動にして、一度きりしかない人生をみんなで支え合いながら楽しく幸せに生きていきたい、と思いました。（2年女子）
- ・大好きな友達や家族。いつも当たり前にいると思っていましたが、いつかはそうでなくなることが分かりました。これからは、自分の命も自分以外の命も今までよりも大切にしていきたいと思いました。（2年女子）
- ・「命」は「生き方」につながっていること、たくさんの奇跡が重なって今の自分がいることを学び、相手のことを想うことができたなら次は行動することが大切なんだと思いました。将来のために、今から行動していこうと思いました。（3年男子）
- ・自分自身や周りの友達、家族の考え方や命、生き方を大切に、尊重することが必要だと思いました。命を授かるのは奇跡であり、つながりも奇跡だから、自分を大切にしていきたいです。（3年女子）
- ・人と人とが会おうという運命的な出来事を大切にしたいです。また、性別が同じでも感性は人それぞれなので、その違いを大切にしていきたいと思いました。（3年男子）

■自分自身の生き方について

- ・「与えられた条件の中で生きていく」「言葉をしっかりと伝える人間になる」というフレーズが印象に残りました。これからの生活では、今自分に与えられた時間の中でどう生活したいかよく考えたい、と思いました。（2年女子）
- ・高校受験に向け頑張っていますが、テストの点数をあげられずあきらめそうになっていました。でも、自分の将来のためにあきらめず努力し続けようと思いました。（3年女子）
- ・「自分を大切に」という言葉は、今の自分を振り返るきっかけになりました。私は「自分が全て背負えばいいや」という自己犠牲癖があり、何度も親や友達に注意されてきました。今後はこの癖を直すために自分を大切にしていこうと思います。（3年女子）
- ・しっかりと勉強すると将来役に立つし、きちんと寝て食べて、規則正しく生活することが大事だと思いました。（2年女子）
- ・私は前から助産師さんに憧れていて改めてすごい職業だなと思いました。（2年女子）

次号でも、尾中生の振り返りを紹介します。

【文責：校長 工藤雅史】

